

日光国立公園満喫プロジェクト ステップアッププログラム2025中間評価

1 目標の達成状況及び評価

(1) 数値目標

- 国立公園での一人当たりの日本人観光消費額 ※1(2025年目標 28,000円)

2019年	2020年	2021年	2022年
22,921円	No Data	No Data	25,593円

- 国立公園での一人当たりの訪日外国人観光消費額 (2025年目標 65,000円)

2019年	2020年	2021年	2022年
37,081円	No Data	No Data	No Data

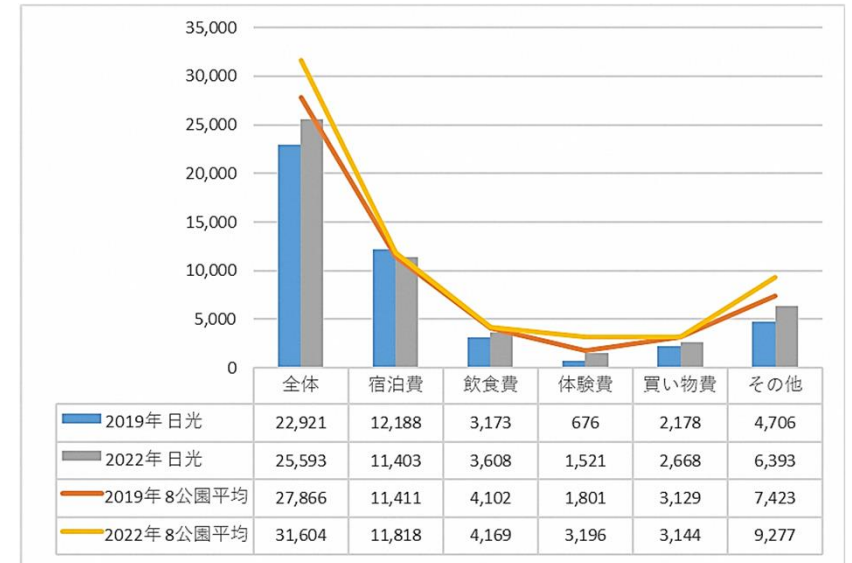
- 日光国立公園観光入込客数・宿泊者数 ※2(2025年目標 1,904万人・628万人)

	2019年	2020年	2021年	2022年
入込客数	1,904万人	1,202万人	1,035万人	1,348万人
宿泊者数	628万人	342万人	352万人	445万人

- 訪日外国人日光国立公園利用者数・宿泊者数※1 (2025年目標 28万人・15万人)

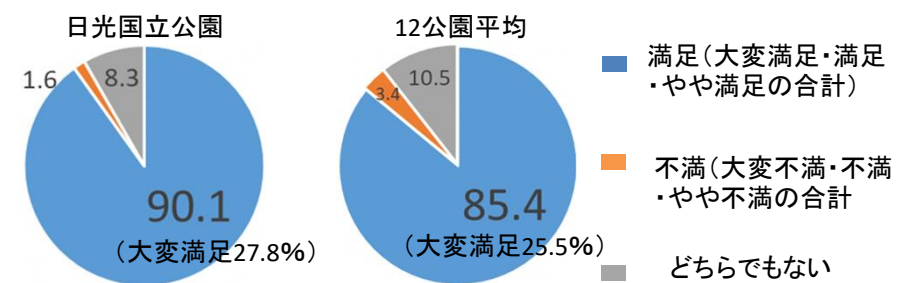
	2019年	2020年	2021年	2022年
利用者数	28万人	No Data	No Data	6.2万人※3
宿泊者数	15万人	2.4万人	0.5万人	3.7万人

【参考：日本人観光消費額内訳の推移】



(2) 質的目標

- 国立公園利用者の満足度 (滞在全体日本人のみ) ※1



出典等 ※1 国立公園満喫プロジェクト推進業務報告書 ※2 R4(2022)年栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果(日光・那須の国立公園外の地域を含む。) ※3 2022年利用者数は下半期のみの集計

【評価】

○日本人観光消費額は8公園平均と比較し依然として低いが、2019年よりも増加しており、伸び率を踏まえると、2025年の目標数値は達成が見込まれる。そのうち、体験費はコロナ禍でも急進。飲食・買い物費用も増加傾向。飲食・体験・買い物費のニーズを的確に把握し取組を推進することで、国立公園全体の底上げに繋がっていくことが肝要。

○入込数・宿泊数、及び訪日外国人宿泊者数は2021年よりも増加しているが、コロナ前の数値には回復していない。2023年はインバウンドの回復が見られることから、今後の動向について注視が必要。

○質的目標は、12公園平均よりは高いが、観光消費額等のさらなる底上げにむけ、日光国立公園で目指すべき利用の質・快適性・利便性など、質的要素の抽出・評価手法等を検討実施し、地域ブランディングに繋がっていくことが重要。

2 ハード整備の進捗状況

(1) 外国人に対応した施設整備の進捗

●トイレ洋式化の状況

(単位:箇所)

		H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31/R 1 (2019)	R2 (2020)	SUP 第1期計	R3 (2021)	R4 (2022)
日光	国	0	4	0	0	0		0	0
	県	0	1	0	5	3	4	0	3
	市町村	1	1	1	3	0	0	13	0
鬼怒川	国	0	0	0	0	0		0	0
	県	0	4	0	1	0	2	0	0
	市町村	4	1	2	1	0	0	8	0
塩原	国	0	0	0	0	0		0	0
	県	0	0	1	2	0	2	0	0
	市町村		1	2	2	0	0	6	2
那須	国	0	0	0	0	0		1	0
	県	0	0	0	2	0	3	0	1
	市町村	0	0	2	3	1	0	6	8
計		5	8	10	9	1	33	10	5

●案内標識多言語化の状況

(単位:基)

		H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31/R 1 (2019)	R2 (2020)	SUP 第1期計	R3 (2021)	R4 (2022)
日光	国	0	16	1	7	34		1	0
	県	36	37	22	38	9	10	1	8
	市町村	1	0	0	0	1	8	8	43
鬼怒川	国	0	0	0	0	0		0	0
	県	0	1	0	4	2	4	0	0
	市町村	1	4	2	0	0	0	9	0
塩原	国	0	0	0	0	0		0	0
	県	4	10	15	16	5	8	1	1
	市町村	6	1	3	0	0	0	10	10
那須	国	0	15	0	0	0		0	0
	県	2	2	5	20	6	6	1	1
	市町村	0	0	0	0	16	17	46	3
計		50	78	28	10	70	236	30	29

※洋式トイレが1基以上ある、自然公園施設のトイレの数。

(2) その他の主な施設整備の2022年の実績

日光	<ul style="list-style-type: none"> ・戦場ヶ原周回線歩道の老朽化した木道改修/環境省 ・千手ヶ浜園地(トイレ改修)、中宮祠園地(観爆台改修)、三本松園地(舗装修繕)/栃木県
鬼怒川	
塩原	<ul style="list-style-type: none"> ・須巻富士新場歩道(木道、標識改修)、八方ヶ原県民の森線歩道(展望台改修)/栃木県 ・修景伐採(布滝周辺、須巻富士園地)/那須塩原市 ・学校平遊歩道改修、おしらじの滝遊歩道改修、山の駅たかはらシャワー室の整備/矢板市
那須	<ul style="list-style-type: none"> ・那須高原道路木道(八幡つつじ園地)修繕/環境省 ・小丸山線歩道(階段、標識等改修)、沼原園地(木道、標識改修)、那須高原線歩道(木道改修)、那須弁天北温泉車道(橋梁改修)/栃木県 ・木の俣園地改修/那須塩原市 ・登山道北温泉水水平線修繕工事/那須町

3 その他の取組の進捗状況

(1) 「目指す姿」に係るこれまでの実績

ア) 「上質で奥深い魅力を満喫できる国立公園」に資する取組

◆観光資源の磨き上げ・新たな体験メニュー創出

- 旅館・ホテル・観光施設の改修/DMO日光、民間事業者
- 環境配慮型・観光MaaS「NIKKO MaaS」の推進/県、日光市、民間、同MaaS「NASU-Ways～Maas for NASU trip～」の推進/民間事業者、那須塩原市、那須町
- 塩原温泉竹取物語ライトアップイベント、板室温泉鯉のぼりライトアップの実施/環境省・県・那須塩原市・観光局・観光協会等、殺生石周辺のライトアップ実施/県、那須町、観光協会、民間
- 自然・文化・食を楽しむサステナブルツーリズム開発事業/関東運輸局・DMO日光

◆外国人観光客の受入態勢整備・過ごしやすい環境整備

- 多言語パンフレット作成(英語・繁体語・簡体語)/DMO日光
- VISIT JAPANトラベル&MICEマート、JNTOを活用した情報発信/DMO日光

(2) その他の取組に係るこれまでの実績

- 「国立公園へ行ってみよう」サイトの掲載・拡充/環境省
- アウトドア事業者と連携した情報発信等の実施/日光市
- 冬季誘客促進に向けた事業(商談会の開催、体験型コンテンツ割引クーポン発行等)/日光市・日光市観光協会・DMO日光
- 日光国立公園アクティビティポータルサイト構築/県
- アクティビティ広告配信/県
- 地域課題への対応の検討、魅力の掘り起こし/各エリア分科会

イ) 「滞在・体験・周遊型の国立公園」に資する取組

◆アクセス、周遊のための交通手段の整備

- 日光市サイクルタウン推進/日光市、民間事業者
- NEWDAY,NEWLIGHT.日光PRによる観光ルートの発信/日光市
- 奥日光Eバイクを活用したサステナブルツアー誘客/DMO日光
- Eバイクを活用したツアーの造成・運用/環境省、観光協会
- Eバイクでのセルフガイド付きレンタサイクルの実施(那須塩原、那須、奥日光/県、観光協会、民間事業者)

◆エリア間の連携強化・観光資源のネットワーク化

- 栃木県(県北・県東・県南・県西)サイクリングモデルルートの検討/県・市町・関係機関等(サイクルツーリズム推進協議会)
- アクティビティ、宿泊事業者等異業種交流会の開催/日光・鬼怒川エリア分科会

ウ) 「脱炭素・循環型の国立公園」に資する取組

- ゼロカーボンパークの推進/那須塩原市、日光市
- 脱炭素先行地域による取組推進/那須塩原市・日光市
- Green Destinations 世界の持続可能な観光地TOP100選に選定/那須塩原市
- グリーンスローモビリティの導入/日光市、民間事業者
- 木の俣園地夏季有料駐車場の整備/那須塩原市
- 1002号線EVバスの導入・運用/県
- SDGsツアーの創出/県



1002号線EVバス



異業種交流会



NIKKO MaaS □□

4 中間評価を踏まえ、今後重点的に強化することが必要な取組

(1) 地域の価値の再確認・再整理

◆コンテンツの再確認・再整理、上質化

- ・冬季や夜間及び朝のコンテンツの開発、磨き上げ
- ・日光国立公園内広域連携したコンテンツ造成
- ・高付加価値・高単価のコンテンツの開発、磨き上げ
- ・アドベンチャーツーリズム、サステナブルツーリズム視点での磨き上げ
- ・富裕層も含めた外国人目線でのコンテンツの評価
- ・プロモーション、ブランディングの基礎となる地域のコアバリュー・ストーリーの再確認・再整理

◆案内機能・情報発信の強化

- ・観光案内所、ビジターセンター等でのコンテンツの案内機能強化
- ・国立公園内VC等拠点施設の連携
- ・国立公園として一元的な情報発信を行うサイトなど観光客が情報を入手しやすい環境の整備

(2) インバウンド向けの誘客促進と受入態勢整備

◆日光国立公園への誘客プロモーション

- ・日光国立公園の価値や魅力、イベント、移動手段、宿泊サービス等の滞在イメージ全体に関する情報提供
- ・県や市町の海外プロモーションと連携した日光国立公園のPR
- ・旅行商品化の促進（特に、自然に関するPRとアクティビティ、文化体験の旅行商品化の強化）

◆観光客の受入態勢の環境整備

- ・自然ガイド認定制度創出等を通じたガイド事業者等のスキルアップ、人材育成を図るための地域全体での支援
- ・地域全体及び広域での連携によるインバウンド受入れ体制の強化
- ・多言語化対応媒体の拡充やトイレ洋式化等によるユニバーサルデザイン化等の再整備
- ・廃屋の取扱い方針の検討や眺望を阻害する樹木等の修景伐採

(3) 脱炭素・循環型の仕組みづくり

- ・受益者負担による環境保全の仕組みづくり
- ・EVの利用促進環境整備
- ・再生可能エネルギーの利用促進に向けた環境整備
- ・オーバーユースの抑制、新たな仕組み作り
- ・脱炭素先行地取組推進、先行地域取組との連動
- ・ゼロカーボンパークの推進